

大野市内で焼き肉店を長年営みながら4人の子どもを育て上げ、現在は越前市内の老人ホームで暮らす高齢の女性が1日、施設近くのコワーキングスペース(CS)で若者らに「秘伝」の焼き肉のたれの作り方を教えた。最近では体調を崩していたが、当日が近づくと自ら買い出しするほど元気を回復。施設外の人との交流を通じて「10歳若返った」と明るい笑顔を見せていた。

(高島健)

秘伝のたれ 教えて元気

「10歳若返った」

元焼き肉店経営 仁川さん(89)



施設から「出張」講師

女性は大野市出身の仁川菊江さん(89)。30歳のころに同市内で数人で満員になる焼き肉店を始め、最後は席数約100人の大型店にまで成長させ、昨年秋の施設で手

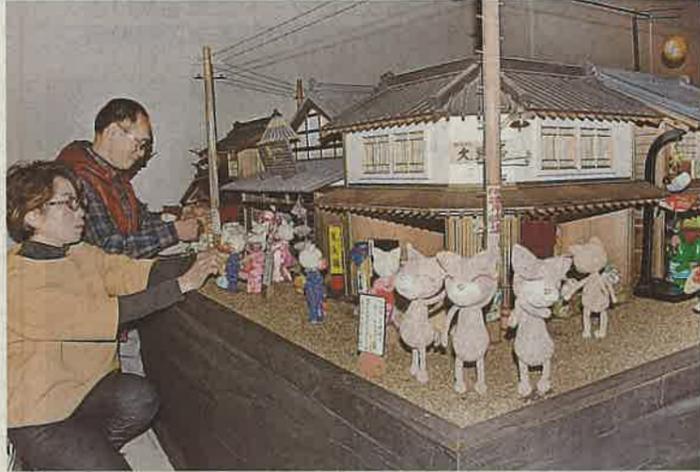
をした。店は子どもたちの成人とともに約40年前に閉じた。腰の持病が悪化して2012年からは越前市の老人ホーム「サンライフ小野谷」で暮らしている。まちなかにぎわいの場を作ろうと、多様な職種の人たちがオフィスを共有するCS「LAMP」をオープンしたのは昨年10月。徒歩数分にあるサンライフ小野谷のスタッフとの間で昨年秋の施設で焼き肉のたれを教えた。最近では体調を崩していたが、当日が近づくと自ら買い出しするほど元気を回復。施設外の人との交流を通じて「10歳若返った」と明るい笑顔を見せていた。

と目を細めた仁川さん。「みんなに喜んでもらえて満足。自分が長年かけて身に付けたことを、置いていけてうれしい限り」と声を弾ませた。笑顔で見守った三女も「こんなに大きな声を出している母は久しぶり」と話した。サンライフ小野谷の谷口和正事務局長は「施設内でもいろいろなレクリエーションはしているが、お年寄りたちは与えられるよりも与える立場になった方がよほど元気になる」と話す。今後CSとの連携を深めていくという。長年作り続けた焼き肉のたれの作り方を教える仁川さん11日、越前市府中1丁目のLAMP

毛糸のネコ 鯖江の街に

まなべの館でジオラマ展

きょうから



毛糸で編んだオリジナルのネコの人形が並ぶ「あみきやら横丁展 in さばえ」(福井新聞社後援)が2日から、鯖江市まなべの館で始まる。昭和時代の鯖江の街並みを再現したジオラマの中に、多彩な表情のネコが生活する様子が表現されている。31日まで。企画したのは田賀勇治

刊にもっと 写真

鯖江の街並みの中に配置された多彩な表情のあみきやら11日、鯖江市まなべの館

さん(66)、美智代さん(62)夫妻。同市水落町3丁目。建築業を営む勇治さんがジオラマ、手芸教室の講師だった美智代さんが毛糸で立体的に編んだネコの人形「あみきやら」を制作した。6年前から夫婦で展示を行っており、今回はその集大成として約400点の作品を並べた。あみきやらの口は羊毛

私たちは古い街並みの中で買い物を楽しんだり、家族で風呂に入ったたりしており、何もない生活を垣間見ることができている。このほか美智代さんが手掛けたレース編みなどの大型作品もある。田賀さん夫妻は「古き良きノスタルジーを感じて癒やされる」とともに、さまざまなネコの表情を見てほしいと話す。期間は、毎週日曜午後1時から、メークでネコになりきって写真撮影を楽しむイベントを開く。参加料は300円で予約不要。他にも多彩な催しを行う。(前田幸)

空き家の問題 解決策学ぼう

空き家の放置リスクなどについて専門家が解説するセミナーが3日、鯖江市民活動交流センターで開かれる。引き続き相談会もあり、いずれも無料。参加者を募集している。空き家問題の解決に向け、

あす、鯖江でセミナー

相談業務や利活用の支援を行っている段があるのかを分かりやすくしているNPO法人「ふん」が企画している。セミナーには同NPOの建築や法律などの専門家が、空き家の解体や利活用など幅広く相談を受け付ける。講師は同NPOの弁護士、佐藤孝一さんが務める。相談などが複雑に絡む空き家問題について、実際の事例を題材に、どのような準備、解決手順、相談会も無料。相談会も無料。鯖江市吉川小4年 西野 光咲さん

南越丹生



私の夢は水泳選手としてオリンピックに出場することです。私は水泳が大好きで、大会でメダルを取ったことがあります。大会にできるだけ出場して、自己ベストをたたくさん出したいです。特に背泳ぎを頑張りたいです。

南越前の間伐材で児童が本立て製作 楽天と県教室開催 インターネット通販大手の楽天と県は2月25日、県産間伐材を使った木工教室を南越前町今庄児童館で開いた。楽天は社会貢献活動の一環として森林保全の「楽天の森プロジェクト」を全国で展開している。同町、県とは2016年3月に楽天の森整備・管



理技 教 1、本立

越前市紙芝居コンテスト

北西、上田さんら大賞

あす表彰式 作品上演も

越前市の歴史や文化をテーマにした創作紙芝居を募る「第7回紙芝居コンテスト」の審査がこのほど行われ、大賞に一般の部は北西都美さん(越前市)と上田みゆき



一般の部大賞の「車だんすの赤おに」

小学生以下のたろうくんの

南越前町 がん予防へ民間活用

新年度健康プログラム開始

南越前町は新年度、フットネスクラブ「RI ZAP(ライザップ)」と連携し、同町の健康増進プログラムを始める。南越前町は新年度、フットネスクラブ「RI ZAP(ライザップ)」と連携し、同町の健康増進プログラムを始める。南越前町は新年度、フットネスクラブ「RI ZAP(ライザップ)」と連携し、同町の健康増進プログラムを始める。

40歳 指導 町 楽天